

まちづくり「協働を」

北見で講座 地域活動など議論

住民と行政の「協働」で2回目。市民ら約40人が出席した。

「コミュニティ再生講座」が29日、北見芸術文化ホールで開かれ、市内の住民協働組織の体験を踏まえ、まちづくりを考えた「写真」。CTCきたみ中央まちづくり会と北海道地域活動振興協会の主催

オートボックスの車検
 オートボックスだから
 安心の価格 見積り無料
 オレンジ色の看板が目印

《オートボックス 北見三輪》
 北見市中央三輪6丁目434-5
 TEL 0157-36-0733 日 AM10:00~PM7:00



体験発表で相内ひだ

個人、政府、市場の限界を超えるひとつのキーワード」と述べた。

同講座は12月に3回目を予定。行政と住民の橋渡し役となる中間支援組織「北見テール」(仮称)の必要性も検討する。(武田亮一)

道新 423.10.30

北海道新聞 H 23/10/30

住民、行政が協働を

きょう講演会

住民と行政による「協働」の必要性を考える第3回コミュニティ再生講座が3日午後6時から、北見芸術文化ホール(泉町1)で開かれる。

CTCきたみ中央まちづくり会などの主催で、9月、10月に開かれた再生講座を受けて今回が最終回。住民協働組織を支援し、行政と住民の橋渡し役となる中間支援組織「北見テール」設立に向け、具体的な施策を考える。また、北海学園大・樽見弘紀教授の講演や市内7団体目の住民協

働組織立ち上げを目指す高栄地区の報告も行われる。参加無料。直接会場へ。

まち

- 北見 (5日)▽市保健センター▽乳幼児健康相談(午前9時・午後1時)成人健康相談、女性健康相談(1時)
 - ▽端野総合支所健康相談室▽成人健康相談、女性健康相談、母子健康手帳交付(午前9時・午後1時)
 - ▽常呂総合支所▽成人健康相談、女性健康相談、母子健康手帳交付(午前10時)
 - ▽留辺蘂総合支所健康相談室▽成人健康相談、女性健康相談、母子健康手帳交付(午前9時)
 - (6日)▽移動献血車▽日専連ニッケンコーポレーション(午前9時)伊東ビル(11時30分)耳鼻咽喉科麻生北見病院(午後2時20分)網走農業改良
 - ▽9・10カ月児健診▽正午、市保健センター▽9(5日)▽健康・栄養相談▽午前10時・午後1時30分、総合福祉センター
 - ▽置戸 (5日)▽地域福祉センター▽一般健康相談、母子健康手帳交付(午前10時)
 - (6日)▽福祉なんでも相談所開設▽午後1時、地域福祉センター
- 満潮 干潮
- ◇網走
- 満潮 9時38分 21時36分
 - 干潮 2時24分 17時20分
- ◇紋別
- 満潮 9時27分 21時44分
 - 干潮 2時14分 17時18分

道新 423.12.3

北海道新聞 H 23/12/03

423.12.16



協働組織の必要性を語るCTCきたみ中央まづくり会の中川篤嘉代表

「北見テーブル」提言へ

「コミュニティ再生講座」が終了 行政と住民の橋渡しを

住民と行政の「協働」協働組織の必要性を確かめ、市民自治について考える「コミュニティ再生講座」が全3回を終え、立も含め、小谷毎彦市長に提言する予定だ。3日夜に開かれた第3回講座。主催するCTCきたみ中央まづくり会の中川篤嘉代表は「『協働』については『協働』についての具体的な施策を小谷市長に提言したい」と述べ、講座を通じてまとめた①北見テーブルの設置②活動の拠点となる施設の整備・充実③市民活動支援センターの設置④協働連絡会の発信—を小谷市長に提言する方針を示した。

北見市は現在、北見自治区の各小学校区単位の住民協働組織設立を目指しているが、16地域中6組織にとどまる。

講座では、設立済みの協働組織の事例紹介やアドバイザーを務めた北海学園大・樽見弘紀教授の講演が行われた。協働促進へ向けた施策を検討し、資料作成や団体同士の連携支援に取り組み北見テーブルの青写真を描き、浮き彫りとなった。樽見教授は「すでにある協働組織が輝くのが先」と指摘。既存の組織の支援策を充実させ、新組織設立は焦らず進めることと助言した。

(相川康暁)

講座では、設立済みの協働組織の事例紹介やアドバイザーを務めた北海学園大・樽見弘紀教授の講演が行われた。協働促進へ向けた施策を検討し、資料作成や団体同士の連携支援に取り組み北見テーブルの青写真を描き、浮き彫りとなった。樽見教授は「すでにある協働組織が輝くのが先」と指摘。既存の組織の支援策を充実させ、新組織設立は焦らず進めることと助言した。

(相川康暁)

北見信金 どんちよう市に寄付 市民会館新装に合わせ

北見の文化振興に役立ってもらうため、北見信金(太布康洋理事)は5日、大規模改修中である市民会館に、市民会館新装に合わせ、どんちよう市に寄付した。

訓子府町図書館増改築に意見を

【訓子府】町図書館は増改築問題について町内全世帯を対象とするアンケートを始めた。今後の施設整備の方向性も含め、町図書館振興計画策定委員会の議論に反映させる。

同図書館は今月号の広報誌とともにアンケート用紙を約2100世帯に配布。質問項目は図書館の利用目的、書籍や雑誌の数を、ロビーや研修室の満足度など。また電子書籍やDVDなどの配置や、同図書館から離れた居武士小と日出地区で現在行っている貸し出しを拡張する形で、移動図書を導入した場合の利用希望も聞く。

策定委は今回のアンケート結果を踏まえ、置戸や北見市留辺蘂町にある身近な図書館を視察する

22日までアンケート
振興計画策定委で議論

ほかに、実践例は本年2月、町公民館に、アンケート。同図書館は本年7・26・7

高栄に住民協働組織

市内7地区目 少子高齢化へ対応

北見市の高栄小学校区で、北見自治区で七つ目となる住民協働組織が年度内にも発足する見通しだ。高栄西町連合町内会（高橋守会長）が中心となり、設立へ向けて地区内の16機関・団体、50町内会を対象に説明会を17日に開く。

住民協働組織は、地域内の各団体のまとめ役となり、イベントなどの中心的な役割を担う。

3日に開かれた住民協働組織を考える講座



では、高栄幼稚園の不破一比古園長が協働組織発足へ向けた地区の取り組みを紹介。①子どもを接点とした交流が少ない④各組織の役割の必要性を強調した。

高栄地区では、市営団地などの造成に伴い1974年に高栄小が開校。79年のピーク時、児童数は1393人になった。当時子どもも240人とピーク時の5分の1まで減少。

北見市は北見工大と共同で31日まで、市内のバス路線に関するアンケートを行っている。また金額や便数、ルート、乗り継ぎの満足度について3択で答えてもらい、ポストに投函する。

市が策定を進める公共交通計画策定の一環で、今月1日から始めた。北見工大都市・交通計画研究室が調査に協力した。

市内や北見バスターミナルにあるはがきに

員の高齢化・固定化など抱える課題を挙げた上で、「これからは横の連携がますます必要になる」と協働組織の必要性を強調した。

環境整備のため、50人、100人の保護者や地域住民はすぐに集まった」と不破園長は振り返る。

保護者を中心に「親睦の集い」を毎年開き、地区の絆を深めていたが、児童数の減少に伴い、1987年から連合町内会などと合同の「高栄地区フェスティバル」に衣替えした。

市が策定を進める公共交通計画策定の一環で、今月1日から始めた。北見工大都市・交通計画研究室が調査に協力した。

市内や北見バスターミナルにあるはがきに

バス路線 工大と調査

市公共交通計画策定で

3日の住民協働組織を考える講座で高栄地区の取り組みを紹介する不破一比古さん

環境整備のため、50人、100人の保護者や地域住民はすぐに集まった」と不破園長は振り返る。

北見市は北見工大と共同で31日まで、市内のバス路線に関するアンケートを行っている。また金額や便数、ルート、乗り継ぎの満足度について3択で答えてもらい、ポストに投函する。

市が策定を進める公共交通計画策定の一環で、今月1日から始めた。北見工大都市・交通計画研究室が調査に協力した。

市内や北見バスターミナルにあるはがきに

北見市
23.9.20

コミュニティ再生講座

第1回 フォーラムディスカッション

テーマ：「協働のまちづくり」の現状と課題
アドバイザー：北海学園大学教授 樽見 弘紀さん

とき 9月24日(土) 午後2時～午後4時

ところ 北見芸術文化ホール 2階大練習室

申込先 ☎(0157)57-3023(事務局まで)
○ファックスの場合は、氏名・住所・団体名をFAX(0157)57-3006まで送信して下さい。

◇どなたでも参加できます。
参加は無料です。

「協働」ってナニ？ ひとつのことに向けてみんなで協力、連携するパートナーシップだね。

「コミュニティ」とは？ 同じ目的や意識をもった人の集まり、地域の村や町とか助けあう仲間のことさ。

「住民自治」って？ 地域に住んでいる人が自分たちの事を決める事だよ。

主催/CTCきたみ中央まちづくり会・(財)北海道地域活動振興協会 後援/北見市

経済の伝書鳩 H 23/09/20

コミュニティ再生講座

第2回 「市民自治」とは、そして「協働や地域活動」を考える

○住みよいまちづくりは自分たちの手で！
○新しいまちづくりのルールを知ろう！

ディスカッション

- トーク** 北海学園大学法学部・教授 樽見弘紀さん
- 体験発表** 相内ひだまり会・美山ふれあい会上とところさくら会の皆さん
- 解説** まちづくりのルールブック「北見市まちづくり基本条例」について
- 討論** 会場の皆さん全員で話し合います

どなたでも参加できます。参加は無料です。

とき /10月29日(土)午後2時～4時30分
ところ /北見芸術文化ホール 5階多目的室
申込先 /きたみ中央まちづくり会事務局
電話番号(0157)57-3023
ファックス(0157)57-3006

主催/CTCきたみ中央まちづくり会・(財)北海道地域活動振興協会 後援/北見市

北見市
23.10.15

経済の伝書鳩 H 23/10/15

コミュニティ再生講座

第3回 〈最終回〉

フォーラム「住民協働組織の必要性を考える」

地域の課題はみんなで考え、住民自ら解決する自分たちが出来ることは、自分たちの手で行う

テーマ
「住民協働組織の必要性と課題」

アドバイザー
北海学園大学法学部・教授 樽見弘紀さん

とき 12月3日(土)午後6時～午後8時

ところ 北見芸術文化ホール 2階大練習室

申込先 きたみ中央まちづくり会事務局
☎(0157)57-3023 FAX(0157)57-3006

主催/CTCきたみ中央まちづくり会・(財)北海道地域活動振興協会 後援/北見市

北見市
23.11.26

経済の伝書鳩 H 23/11/26